

# Knowledge is Power

## 講師コラム

### こころの散歩としての読書



エクステンション・カレッジ講師

野田 直恵

(兵庫大学・龍谷大学・相愛大学兼任講師)

本年は夏目漱石の生誕150年にあたります。 昨年は没後100年にあたりましたから、各方面でさまざまな漱石関連のイベントが企画されているようです。 漱石の小説の一節をテレビCMや看板などで見かけることも時々ありますが、味わい深いものばかりです。こうした一節はあまたの候補の中から選ばれたものでしょうけれども、抜き書きされたかたちで幾たびもその一節を目にすることを通じ、改めて気づいたその表現の意味に驚きを感じることもさへあります。

ことばを用いて何かを表そうとするとき、私たちはことばを一つ一つ選んで組み合わせます。日用のことばでもそうなのですから、作品を描くためのことば選びに書き手の思慮はどれほど働いていることでしょうか。抜き書きされた作品の一節をじっくりと、あるいはくりかえして読むことから見えてくるのは、これまで気づくことのなかった書き手の思いではないでしょうか。多くの作品を読み流すのはむろん楽しいことですが、一つの作品を丹念に読みこむことを通じて豊かな楽しみは得られます。詩や短歌、俳句が多くの人に愛好されるのは、その短さゆえにこうした楽しみが見いだしやすいからだとも思われます。しかし、小説もことばで表現されたものに違いありません。ことばの数が増すほど、それらは複雑に絡み合い、作品はさまざまに読めるものとなるはずです。

近代の小説作品として教科書に掲載されるのは、漱石をはじめとして、芥川龍之介や中島敦、宮沢賢治といった一部の作家の一部の作品に限られています。それらを読み直したり、彼らの他の作品や他の作家の作品を読みこんだりすることは、こころの散歩のようなものといえます。作品の中をゆっくりと楽しく歩いてみましょう。

#### 【野田先生ご担当講座（平成29年度前期）のご案内】

##### 「九條武子の文学を味わう－作品にあらわれた仏教のこころ－」

○九條武子没後90年の今年、『花子とアン』（NHK連続ドラマ）には描かれなかった柳原白蓮と武子との関係を、その作品を通じて紹介します。

○5月15日 5月29日 6月12日 6月26日 各日 月曜日 14:40～16:10



## 目次

□講師コラム 1

□受講者インタビュー 2

## 今回のゲスト： 菅原 寛 様



### 1. 今までの受講講座について教えてください。

#### ● 「仏教入門講座」

5回シリーズで、毎回各方面の講師の方々をお招きした、とても魅力的なものでした。それぞれ素敵な講義でしたが、その中でも特に印象に残っているのは、初回と第4回。初回は講義でいきなり”コントラバスとピアノのライブ”、今でもその音色が忘れられません。私は常々西洋宗教における音楽には関心を持っており、日本宗教とは違った音楽・音色を間近で聴けたこともあり、今回とても感動を覚えました。

また、4回目の”花”をテーマにした、”花の寺・円照寺”のお話にも魅了されました。是非花咲き誇る春の良い時期に、そのお寺を訪れてみたいと思いました。

#### ● 「観光人類学への招待」

3回シリーズで、当大学の先生が講師をご担当。近年のニュースでも話題となっている”インバウンド”をタイムリーに受講できました。今回は学問的、”観光”+”人類学”の視点からのアプローチで、受講生は私含め5名と少数でしたが、皆さんは海外経験豊富な方々ばかりで、講義内容や皆さんの経験談等のお話がとても参考となりました。やはり実験に即したお話はとても興味深いですね。

#### ● 「わたしたちが生きた時代、生きる時代～社会の変化とライフデザイン～」

こちらも3回シリーズで、当大学の先生が講師をご担当。 ”社会学”の視点からの講義で、これまで受講した中では一番アカデミックな内容でした。 ”社会学”に関しては全く素人な私でしたが、戦後の世の中の移り変わり中で、自分が生きてきた当時を思い起こしながら聴いていると、懐かしさに加え改めて新鮮な気持ちにもなりました。いつの時代もそれなりに激動の時代ですが、 ”過去・現在・未来”を考えてみる良いきっかけになったと思います。

### 2. エクステンション・カレッジに参加したきっかけについて教えてください。

昨年2月末で32年間勤めた姫路に事業所のある会社を60歳定年を前に3年半早く退職しました。予てより考えていたことで、第3の人生を早くスタートしたかったからです。当カレッジは自宅から近いこと（JR東加古川駅周辺の自宅から徒歩約15分！ほぼ毎日徒歩で通っています）、第3の人生で”学び”を考えていたこともあり、退職と共に即受講し、エクステンション・カレッジ会員にも入会しました。

### 3. エクステンション・カレッジを受講しての感想を教えてください。

色々な分野の講座が開講されていて、自分が今聴きたい・学びたいと思うものをタイムリーに聴講できるのがいいですね。自分が今関心のあるものについて学べるから、より早く自分のものとして受け入れることができると思います。これを切っ掛けとして更に学びを深めていくことにより、より人生を豊かにできるものと考えています。講義では今までの自分にとって知らなかった発見があり、とても新鮮に感じられるものも数多くありました。講師の皆様も個性に溢れ、とても分かり易くそして楽しくお話し頂き、感謝申し上げます。

### 4. エクステンション・カレッジの魅力について教えてください。

受講生によっては当カレッジに色々な魅力を感じておられると思います。私も沢山の魅力を感じていますがここでは3点に絞ってお伝えいたします。

1つ目に講座がバラエティーに富んでいるということ。コースとしては、大きく5分野、即ち「人文・教養」「播磨学・地域学」「現代社会」「生活・ウエルネス」「キャリア支援」があり、それぞれにおいても10講座前後の内容を揃えています。開催回数、時間帯も大体3回～5回程度、お昼前後の1回当たり1時間半と、とても手頃だと思います。

2つ目は同大学の施設をお安く利用できること。移動用にスクールバスが無料、カレッジの演習室利用が無料、おまけにドリンクがフリー。図書館や食堂、売店利用も。当大学に通われている学生さん達とも同様の扱いに感謝しています。

そして3つ目、インカムの無い今となっては、講座受講料がお安いこと。1回当たり凡そ千円ちょっと、カレッジ入会の年会費が2千円ポッキリ。おまけに入会すると割引特典（1講座当たり500円引）があり、ワンコイン講座（受講料500円）では、何と無料で受講できることに！色々な講座を受けたいと欲張りな私にとってはとても助かっています。

### 5. エクステンション・カレッジへの期待やメッセージがあればお願いします。

これからも益々バラエティーに富んだ講座を揃えて頂きたいと思います。また既に終了したものでも聴き逃された方もおられると思いますので、定期的なリバイバルもお願いできればと思います。

それから期初の企画講座に加えて、スポット的に新講座の追加案内もタイムリーにして頂いていますので、とても楽しみにしています。今後も継続的にお願いできればと思います。そんな中で、受講生からの各種要望も取り入れた講座のラインナップの充実も図って頂ければと思います。個人的には、第3の人生のテーマを”仏教”と考えていますので、当大学の建学精神や特長を生かした仏教関連講座の更なる充実・発展も期待したいと思います。

菅原様、お答えいただきありがとうございました。いつも演習室をご利用いただきありがとうございます。定期的なリバイバル講座や仏教関連の講座も充実させていきたいと思っておりますので、引き続きエクステンション・カレッジをよろしく願っています！（事務室スタッフ）